

NPO 法人結のひろば 令和 5 年度事業計画

1 保育事業

自然を活かし、自然と関わることで、より豊かな子どもの育ちというものを目指しています。そして、それと同様に人同士の関わりの中で生まれる繋がり、結びつきを意識した活動を行なっていきたいと考えています。

小規模保育事業の運営

定員 12 名 人

年間延入園児童数（予約を含め 20 人を予定）

内訳 0 歳児 1 人

1 歳児 3 人

2 歳児 5 人

3 歳児 2 人

4 歳児 5 人

5 歳児 4 人

職員体制（11 人）

保育の内容

○保育理念

「共生の中で育む人間力」

人、自然、地域を含めた環境に働きかけ、共に生きていくことを通じて、社会の中で生きていくために必要な力（人間力）を育んでいきます。

○保育方針

- ・子どもを信じる保育
- ・一人ひとりの違いや個性を尊重する保育
- ・環境を活かし、環境に活かされる保育

○保育目標

子どもが本来持っている力を信じ、引き出すことを基本とし、主体性を尊重するという意識・姿勢で保育を行います。子どもは様々な環境や状況に対応し、行動する力を産まれながらに備えています。その力を引き出すために、自然という多様な環境の中で、幼児期に必要な様々な体験や経験を通して、子どもたちが社会の中で生きていくための力を獲得することを目標とし、保育にあたります。

○保育方法

「見守る保育」

- ・たてわりではない異年齢児保育
- ・子ども主体の保育
- ・ねらいに応じた選択制の保育
- ・かかわりを大切にした保育
- ・チーム保育（職員集団）

○保育環境

全年齢を通じて「森のようちえん」の教育方針と見守る保育をベースとした保育を行なっていく。

0・1歳クラス

月齢の幅が広いと、個々の身体的発達に合わせた環境が必要です。安心して眠れるスペースから、しっかり動けるスペースまで、それぞれの活動が満たせる環境を作りつつ、自然にも触れ合う機会も作ります

2歳クラス

この時期に、発達に必要な様々な経験をするのが大切になってきます。個々に合わせた言葉かけや丁寧な対応が特に必要になります。発達状況を見極め、野外での活動が十分にできる段階までの成長に達した子は、3・4・5歳児と一緒に生活・活動を行います。

3・4・5歳クラス

基本的な活動を森や地域をはじめとした野外で行います。自然の中で主体性や個性を発揮し、様々な環境に働きかけることで、人として生きていく力、人間力を身に付ける活動を行います。

○地域との関わり

自然だけでなく、地域やそこに住んでいる人も、子どもにとって重要な保育資源といえます。江津市跡市町は少子化・高齢化が進み、人口も少ない小さなコミュニティですが、その中には様々な知恵や特技、想いを持った人が存在します。そんな地域の人たちと触れ合い、関わりを持つことは子どもたちにとって、その後の人生を歩んでいく上で大きな財産となるはずです。自然、地域、人を巻き込み、地域全体で子育てができる形を目指しています。

○保育・教育を提供する日

開園日 月曜から土曜日

休園日 日祝祭日、年末年始 12 月 30 日～1 月 4 日

○保育・教育を提供する時間

開所時間

平日 7 時 00 分から 18 時 00 分 *18 時 00 分から 19 時（延長保育）

土曜日 7 時 00 分から 17 時 30 分

○食事

食事は、「子どもの健康な体、丈夫な体を作るための基礎になる食事」だと考え、日本人が昔から食べてきた和食を基本とした和食メニューにしている。また、自園で育てた野菜や地域で取れる食材も使い、地産地消に繋げることで、食の面からも地域に関わっていく機会を作ること意識している。

- ・お米は毎日園で精米し、雑穀を混ぜます。
- ・主要な調味料(味噌・醤油・酢)は、国産原料で作った無添加の物を使います。
- ・砂糖や塩は精製されていないミネラルを含んだものを使います。
- ・お茶は子どもが飲むのに適した成分の茶葉を使います。

○年間行事

- 4 月 入園式、内科検診、保護者会総会
- 5 月 泥遊び、親子遠足（3 歳以上児）
- 6 月 歯科検診、田植え体験
- 7 月 七夕会、夏祭り、園庭整備作業
- 8 月 海遊び
- 9 月 園庭整備作業
- 10 月 運動会、芋掘り、遠足（3 歳未満児）
- 11 月 誕生会
- 12 月 みのり祭り、クリスマス会、もちつき会、歯科検診、内科検診
- 1 月
- 2 月 節分、卒園記念写真撮影
- 3 月 ひな祭り会、誕生会、卒園式・修了式

【毎月実施事項】

身体測定、避難訓練、クッキング（カレー・ピザ）

2 プレーパーク事業

子どもの学びや育ち、そして社会の中で生きていくために必要な力というのは、人と人同士の関わりの中でこそ培い、育まれるものであるはずですが、今の時代、コロナ禍の影響も含め、様々なしがらみによって人同士が集い、交流をする場所や機会が少ないのが現状です。

また、繋がりが持てないからこそ、子育てに対する相談相手もできず、子育てを悩み、子育てを楽しんでいると感じることのできない親が増えている現状があります。

そのような状況を解消する目的として、子どものみならず、在宅の親子や地域の人たちなど、誰もが集まり、遊び、コミュニケーションをとることのできる居場所、フリースペース結のひろばを開設し、わたぼうし独自の子育て支援、社会的支援の形を進めていきます。

○名称 フリースペース結のひろば

○対象 誰でも利用可能（中学生未満は保護者同伴）

○時間 9時30分～15時30分

○休日 水曜日・日曜日・祝日

3 託児事業

研修や演奏会、会議の時や楽しいイベントなど、不定期に行われるイベントにおいて、子どもたちをその会場の別室で一時的に預かり、その会が行われている間のみ託児を行います。

*参観日や発表会など、親御さんの要望があれば対応は可能

*個人的な訪問預かり（ベビーシッター）は無し

○名称 ぼれぼれ

○対象 0歳～小学生まで

○料金 1時間 1200円（延長の場合は10分毎に200円）

4 第3の居場所（フリースクール+コンビニ）事業

現在、定期的に行政（教育委員会）との協議の機会を持ち、日本財団2024年度「子ども第三の居場所」事業募集の申請に向けて準備中

*事業計画促進のため、個人コンサルタントと契約

* 公共交通機関を利用した送迎

- ・石見交通の路線バスを利用しての登園を行う（希望者のみ）
- ・現在、9名の子どもが利用をしている。（2家庭）
- ・利用するのは朝の登園時のみ。
- ・バスの利用料（バス運賃）については園が4割を負担し、残りの6割を保護者が負担。